

●安曇地区●	693世帯
男女	691人
合計	691人
R3.3.1現在	1382人

大きくなった会について

乗鞍保育園 園長 相澤 優貴

2月9日(火)に乗鞍保育園の「大きくなった会」が行われました。この会は、入園・進級してからこれまでの園の生活・あそびの中で培われた表現あそびの集大成を保護者の皆さんに見てもらい、子どもたちの成長を感じてもらおう場でもあります。

いつもは伸び伸びとあそびを楽しんでいる子どもたちですが、未満児や年少児くらいの小さい子どもたちは、なりきって楽しんでる子もいれば、大勢の人が見ているいつものとは違う雰囲気を感じて、恥ずかしい・照れてしまうなど普段通りに自分を出せない子の姿も見られました。この姿もこの年齢の成長の姿です。年中児になると、恥ずかしい・緊張するけどがんばろうとする姿。年長児になるとそれに加えて、小さい友だちのことも考えてあそびを進めたり、今まで友だちとがんばってきたことをやり遂げようとしたりする姿が見られました。年齢ごとでなく全園児で開催できる



「ももたろうさん〜鬼もウィルスもたいじしてね!」

からこそ、各年齢ならではの成長の姿を一度に見ることができません。乗鞍保育園だからこそです。お家の方からも「大きくなった姿を見るのができて良かったです」と沢山の感想をいただきました。お家の方と一緒に子どもたちの成長を感じられたうれしい時間でした。来年は、どんな成長の姿を見せてくれるのか今から楽しみます。

成長が存分に出せた 大きくなった会

安曇保育園 園長 百瀬 あさ美

大きくなった会とは、劇・歌・合奏などの表現活動を保育士や友だちと楽しみながら関わりを広げたり、表現することの楽しさや満足感を味わったり、保護者の方に子どもたちの成長を見ていただき成長を喜びあうことがねらいで毎年、行っています。

今年も感染レベル5の中での会だったので、換気をし、人との距離をとり感染予防をしっかりとりの時間差での各年齢ごとの発表でした。例年は、全年齢の発表を全年齢の保護者の方で見合せて楽しめたのが今年は見合せて楽しめず、それでも来なく残念でした。それでも大きくなった会の日には、どの子ども家の人に見せるんだととても嬉しかったです。劇では、

あづみへようこそ



井上 卓郎 (橋場地区)

おかげ様で、橋場に住んで8年目を迎えます。卓郎は99年に「ハッピーデイズ」という映像会社を個人で設立しました。『山と自然』を撮影・編集の全てを承っています。企業や行政やアウトドア業界との仕事で、現在大野田の入り口に事務所兼アトリエを必死でDIY中です。

私(のぞみ)は看護師をしつつ家業のアシスタントをし、極寒の古民家で猫達と暮らしています。少しでも地域のお役に立てればと今期、主任児童委員をさせて頂いたでいます。

「こんな時だからこそ、未来に希望を持ちたい!」安曇史によると橋場の雑炊橋の架け替えは12年に1度。寅年にされていたそうです。「(来年)世が落ち着いたら雑炊橋のイベントをしたい!」と2人で雑炊を嚙りながら、お節と清兵衛に夢を馳せる今日この頃です。

「義は義で返す。それが和を生む」安曇で暮らして皆さんから学んだ一番の事柄です。

▼未満児の劇「もりのおふろ」



▼年少・年中児の劇「ももたろう」



▼年長創作劇「5人の海賊大冒険」



未満さんは「もりのおふろ」年少・年中さんは「ももたろう」年長さんは自分たちで作った創作劇「5人の海賊大冒険」をやりました。やっている中で友だち同士、助け合ったり、ハプニングがあってもうまく力を合わせて乗り越えたり、等、よい場面がいくつも見られました。人数が少ないので、一人何役もやり、早着替えをして手際よく劇を進めている年少・年中・年長さんたちの姿がとてもかっこよかったです。

未満さんは、にこにこ笑顔でやっている姿がかわいかったです。年長さんの廃材を使つての合奏はとてもユニークでした。最後の年長さんの歌は今年最後ということもあって胸がジーンときて涙を浮かべていた保護者の方も何人かいました。安曇の子どもたちのやさしいところがたくさん見られ、ひとりひとりの成長が見られたとても素敵な会でした。

安曇小中学校

元気な
空気に
なろう

卒業式に向けて

小1～5年生全員で卒業式会場を飾る花の苗をプランターに植え替えました。



中学校昇降口にある黒板。中学生在交代で書く雑感。「みなさんも後3年生といられる時間を大事に過ごしてください。できるだけ楽しい日を過ごしましょう！」と2年生の思いがありました。

カウントダウンカレンダーは「卒業式まで〇日」一番上の『千紫万紅』一人一人が主役になれる生徒会』は、令和3年度の生徒会テーマです。既に新組織で動き出しています。



1年かけていっしょに...

1年前に児童会を引き継いだ6年生が、つくってきた掲示。全校みんなの輝く姿を写真＋コメントでその都度貼ってきました。1年かけていっしょになりました。真ん中の児童会スローガンをみんなで実現できました。



思いは ひきつがれます

大野川中

乗っく

「総合を通して」

(3年八懸一星)

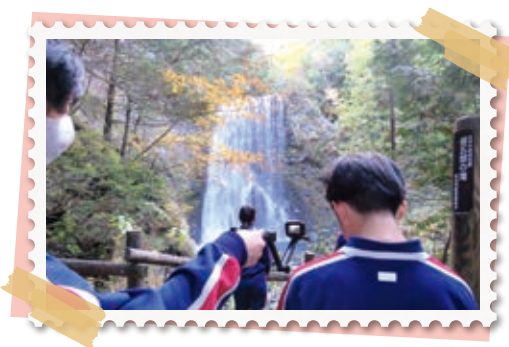
僕は今年度の総合的な学習で、昨年や一昨年とは違った力がついたと思います。なぜかというところ、コロナウイルスが流行したことで例年通りの活動ができなくなりました。昨年度までは、自分達の地元を手作りの「乗鞍PRパンフレット」や自分達が撮影した乗鞍のきれいな場所や景色が載っているカレンダーを作りPRしてきました。PRの方法としては、それらの作った物を松本城やサーブエリアに行き、配布するという形だったので、コロナウイルスに感染するリスクがあったため、できませんでした。ですが、こんな時だからこそ、何かの形で地元の活性化のため、周りの人たちが元気になれるような取り組みをしたいと思ひ、コロナウイルスの影響で交流ができなくなりました。静岡県の松崎中学校と大阪の天王寺中学校との三校合同で地元PR動画を作ることにしました。この動画の主旨としては、コロナ禍で外出できなくても街・海・山に出かけた気持ちになれるような、「おうちでアウトドア」を感じられるようなものを作ると

いうことです。

この動画を作るにあたって他の二校に、この活動の目的や映像を通して伝えたい事、どんな絵が欲しいのか、といったことを文で正確に伝えるのは大変でしたが、自分達の伝えたい事を理解してもらえた時の達成感はずっと良かったです。

離れている二校と共同で一つの物を作るのは苦労もありましたが、やっつけていく中で、誰かに頼み事をする時の心の持ち方や、言葉遣いを学ぶことができました。さらに、不安や心配なことがあっても、最後までやり通す力もついたのではないかと感じています。

完成した動画は、船の上から輝く海を見ることができ、大阪



の賑やかな町並みを楽しむことができ、乗鞍の紅葉や滝といった魅力を感じることができ、素敵なものになりました。今後動画はユーチューブにアップロードし、また、観光協会のホームページにも掲載予定です。僕たちの活動によって「中学生もがんばっているんだな」と感じてもらえたり、コロナが収束したらここに旅行に行ってみよう、と感じてもらえたりしたら嬉しいです。

感謝

安曇公民館 前田洋介

安曇地区出身でありながら知らないことも多くありました。が、皆さまから温かいご指導をいただいたおかげで、3年間職務に励むことができました。公民館の事業は、五感が刺激されることが多く、心が豊かになる経験ばかりで、これらはご参加いただく皆さまのおかげで成り立っております。まだ、公民館事業に参加されたことない方は、この素晴らしい安曇地区をぜひ堪能してみてください。公民館は、そのお手伝いをいたします。

この度、安曇公民館を離れるにあたり、お世話になった皆さまに感謝申し上げます。大変お世話になりました。

